# 2020年3月期第2四半期決算説明会資料

2019年11月12日



タイワホールディングス株式会社

(証券コード:3107)

## ご説明の流れ



- 1. 会社概要と主要事業のご紹介
- 2. 2020年3月期 第2四半期決算
- 3. 通期業績予想および中期経営計画の見通し

### 【参考資料】

- 1. 業績推移グラフ
- 2. ITインフラ流通事業 補足資料

# ダイワボウホールディングス株式会社



本社所在地	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号				
設立日	1941年4月1日				
連結従業員数	5,794名(2019年3月末現在)				
資本金	216億9,674万4,900円				
株式	東証1部上場 証券コード 3107 / 業種:卸売	<b>業 <jpx日経イン< b="">デックス400構成銘柄&gt;</jpx日経イン<></b>			
	ITインフラ流通事業         [中核会社] <b>Dis</b> ダイワボウ情報システム株式会社	コンピュータ・周辺機器・ソフトウェアの販売 および物流サービス業 コンピュータ機器等の導入・保守・修理サービス業			
事業内容	<b>繊維事業</b> [中核会社] <b>大和紡績株式会社</b> daiwabo	化合繊綿、不織布製品、産業資材関連製品、衣料・リビング製品用テキスタイルおよび最終製品の製造販売業			
	<b>産業機械事業</b> [中核会社] 株式会社 オーエム製作所	工作機械、自動機械および鋳物製品の製造販売業			
	その他事業	ホテル業、エンジニアリング業			

# グループの沿革



1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010
				1982		<b>•</b>	
				O 1.	Tインフラ流通	<b>基事業</b>	
1941							
<b>O</b> 約	機維事業						
1949			<b>~</b>				
0	産業機構	戒事業					
1941. 4	錦華紡績、日と	出紡織、出雲製織おる	よび和歌山紡織の4社	□ ニが合併し、 <b>大和紡績</b>	として発足		
1949. 5	▶大和紡績がす	▶大和紡績が東証1部上場					
1949. 7		大和紡績が宍道工場を分離し大和機械工業(現 <b>オーエム製作所</b> )を設立 →その後、工作機械・紡績機の製造を手掛けていた大阪機械製作所と1960年に合併しオーエム製作所が誕生					
1971.11	▶オーエム製作	▶オーエム製作所が東証1部上場					
1982. 4	大和紡績が新規	大和紡績が新規展開の一環として、情報関連事業へ進出するために <b>ダイワボウ情報システム</b> を設立					
2000. 9	▶ダイワボウ	▶ダイワボウ情報システムが東証1部上場					
2009. 3	大和紡績とダー	大和紡績とダイワボウ情報システムが経営統合					
2009. 7	大和紡績が <mark>ダ</mark> ー	イワボウホールディン	ングスへ商号変更(約	載維事業の中間持株会会	会社として新たに <b>大和</b>	<b>ロ紡績</b> を設立)	
2011. 7	ダイワボウホ-	イワボウホールディングスがオーエム製作所と経営統合 ⇒ <b>現在の主力3事業体制へ</b>					

# 主要な事業セグメントの概要



営業利益比率

# **ITインフラ** 流通事業

#### IT関連商品を取り扱う国内最大級のディストリビューター

全国93拠点での地域密着営業によるパートナー企業との協業体制が強み 特定のメーカーに特化しない独立系マルチベンダーで、PCをはじめとした 世界中のメーカー約1,200社の商品・サービスを販売



合繊・レーヨン部門

産業資材部門

衣料製品部門

紙おむつ等の衛生材料用途の合繊綿、生分解性の高い レーヨンなどの繊維素材・製品を展開

工業資材、フィルター製品、土木資材・重布製品、ゴム製品などの産業領域の繊維製品を展開

各種繊維原料および機能性インナーなど繊維製品の開発と製造販売、ライセンスブランド衣料品の製造販売

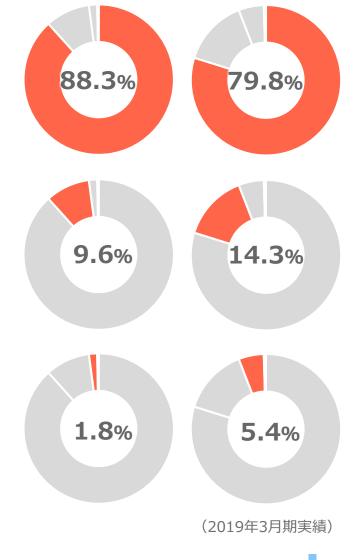


工作機械部門

自動機械部門

航空宇宙分野などの重工業を中心に活用される工作機械である「立旋盤」の製造で国内トップシェア

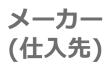
食品・医療品など幅広い業界に対して包装・梱包の 自動機械を製作納入



売上高比率

### ITインフラ流通事業 ― 事業構造 ―





約1,200社

約210万アイテム



SIMフリー端末・ スマートフォン SIM free terminal,

ネットワーク

Network

通信・クラウド

Communication,



ペリフェラル Peripherals



ソフトウェア Software



その他 etc.



### 販売管理システム

iDATEN(章默天)

iKAZUCHI(雷)

### パートナーサポート機能

サービス&サポート機能

- ・設定・設置サービス
- ・オリジナル保守 ・コールセンター事業

### 全国をカバーする物流拠点

#### DISの物流機能

・メーカー倉庫代行サービス ・キッティング

- イベント(全国各地で開催)

「DISわあるど」「ICT EXPO」「Power Day」

全国 93

の営業

- · 配送、出荷、保管、入荷

### プロモーション機能

#### DISオウンドメディア

- ・スマートワーク総研 ・PC-Webzine.com

業種やエリア毎に 異なる商習慣

販売

パートナー

約19,000社

商社

SIer · NIer

事務機器販売店

量販店・専門店

EC・WEB事業者

エンドユーザー

企業

官公庁・自治体

文教・研究施設

医療機関

一般消費者

ユーザーニーズ の多様化

### 世界中のメーカー の豊富な商品群

# ITインフラ流通事業 - 3つの強み -





### 販売パートナー X DiS



- ▶ さまざまなメーカーの商品・サービス・情報を取り揃え、最適 な組み合わせで提供できる
- ▶ DISが、豊富な在庫の中から、販売パートナーに代わって全国 各地のエンドユーザーにスピーディかつ確実に納品できる
- ▶ 全国での展示会などのイベント実施や、地域に密着したDISの 営業・技術支援体制により、高度化するユーザーニーズにあっ た提案ができる

### メーカー(仕入先) × つご



- ▶ 長年培ったDISのサプライチェーンマネジメントにより全国の 需要量・ニーズの情報を連携し、生産計画やプロモーションに 反映できる
- ▶ DISの物流センターをメーカーの倉庫機能として活用すること で、出荷前のキッティングや他社製品との組み合わせなど幅広 いニーズに応えられる
- ▶ 海外から日本市場に参入する場合に、DISと協業することで国 内の販売網・配送網が整備できる



# 2020年3月期 第2四半期決算

### 連結決算ハイライト



# **2020年3月期 第2四半期**(2019年4月1日~2019年9月30日)

# ITインフラ流通事業が業績を牽引し、 上期として過去最高の売上高・利益を達成



Windows7サポート終了に伴うPC更新需要に加えて、働き方改革や生産性向上に伴うIT投資が活況となる中、全国の需要動向を的確に捉え、大幅な増収増益

### 繊維事業

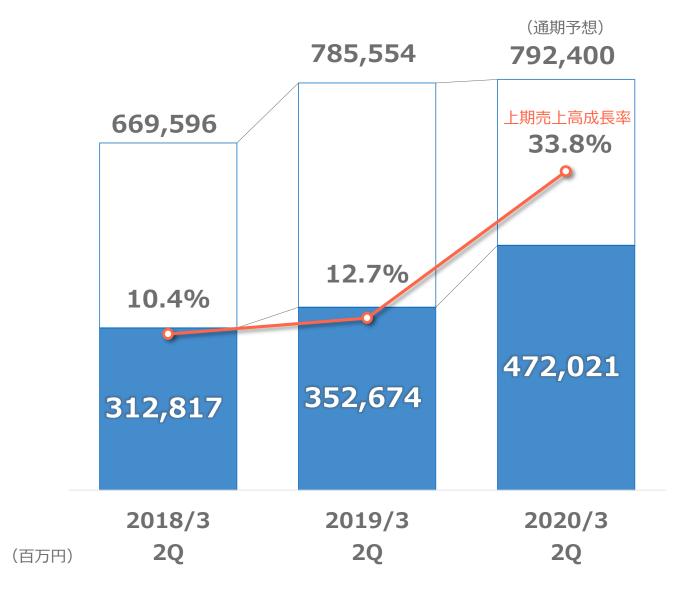
合繊・レーヨン部門における衛生材料向けおよび衣料向けの需 要減および価格競争の激化により減収減益

### 産業機械事業

顧客の設備投資への慎重な姿勢が強まり受注が減少

# 2020年3月期 2Q累計 売上高





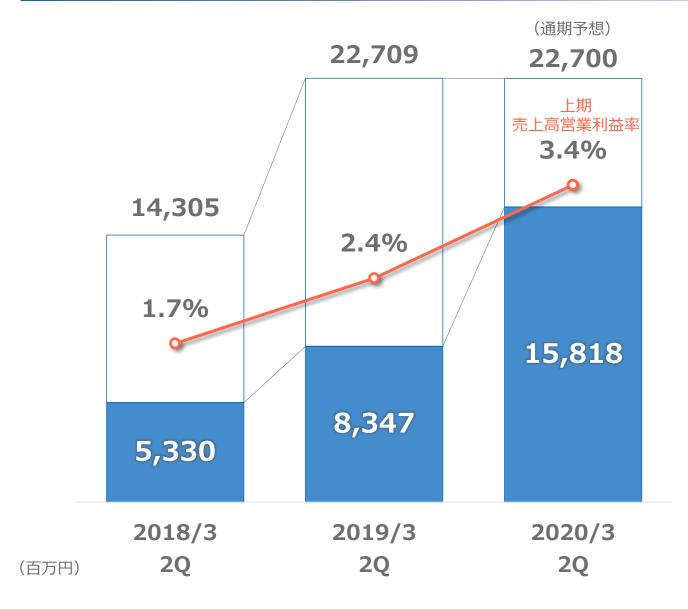
前年同期比 33.8%增

上期としては過去最高

通期進捗率 59.6%

# 2020年3月期 2Q累計 営業利益





前年同期比89.5%增

売上高営業利益率 1.0%改善

通期進捗率 69.7%

# 2020年3月期 2Q累計 連結決算概況



(百万円)	2019/3	2Q	2020/3	2Q	前年比	計画 (期初予想)	計画比
	金額	率	金額	率			
売上高	352,674		472,021		+33.8%	379,000	+24.5%
売上総利益	30,419	8.6%	39,796	8.4%			
販売費及び一般管理費	22,072	6.3%	23,978	5.1%			
営業利益	8,347	2.4%	15,818	3.4%	+89.5%	9,600	+64.8%
経常利益	8,264	2.3%	15,851	3.4%	+91.8%	9,500	+66.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,513	1.6%	10,608	2.2%	+92.4%	6,500	+63.2%

■ ITインフラ流通事業の好調により、売上高・利益ともに前年実績および 計画(期初予想)を大幅に上回り、上期としては過去最高業績を更新

# 2020年3月期 2Q累計 セグメント別業績

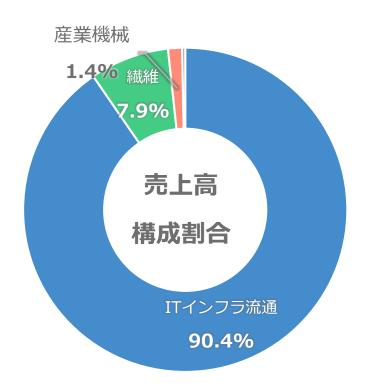


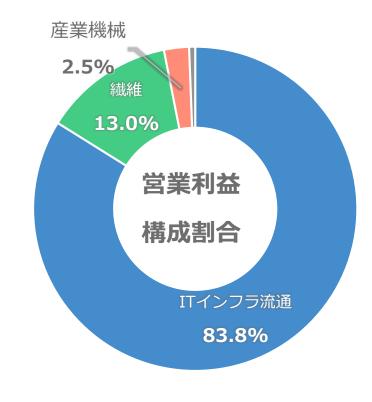
(百万円)		2019/3 2Q	2020/3 2Q	増減	前年比
	ITインフラ流通	307,007	426,806	+119,799	+39.0%
	繊維	37,579	37,366	△212	△0.6%
売上高	産業機械	6,549	6,506	△43	△0.7%
	その他	1,538	1,341	△196	△12.8%
	合計	352,674	472,021	+119,347	+33.8%
	ITインフラ流通	5,546	13,260	+7,714	+139.1%
	繊維	2,206	2,056	△150	△6.8%
営業利益	産業機械	461	390	△71	△15.4%
白木竹皿	その他	131	108	△22	△17.1%
	(調整額)	0	2	_	-
	合計	8,347	15,818	+7,471	+89.5%

※当期より持株会社の人員増に伴い本部費用等の配賦方法を変更しております 前期のセグメント利益は変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております

# セグメント構成割合







	2019/3 2Q	2020/3 2Q
ITインフラ流通	87.1%	90.4%
繊維	10.7%	7.9%
産業機械	1.9%	1.4%

	2019/3 2Q	2020/3 2Q
ITインフラ流通	66.4%	83.8%
繊維	26.4%	13.0%
産業機械	5.5%	2.5%

### ITインフラ流通事業





**2Q累計売上高 426,806**百万円(前年比+39.0%)

**2Q累計営業利益 13,260**百万円(前年比+139.1%)

**PC出荷台数 203.9**万台(前年比+91.7%)

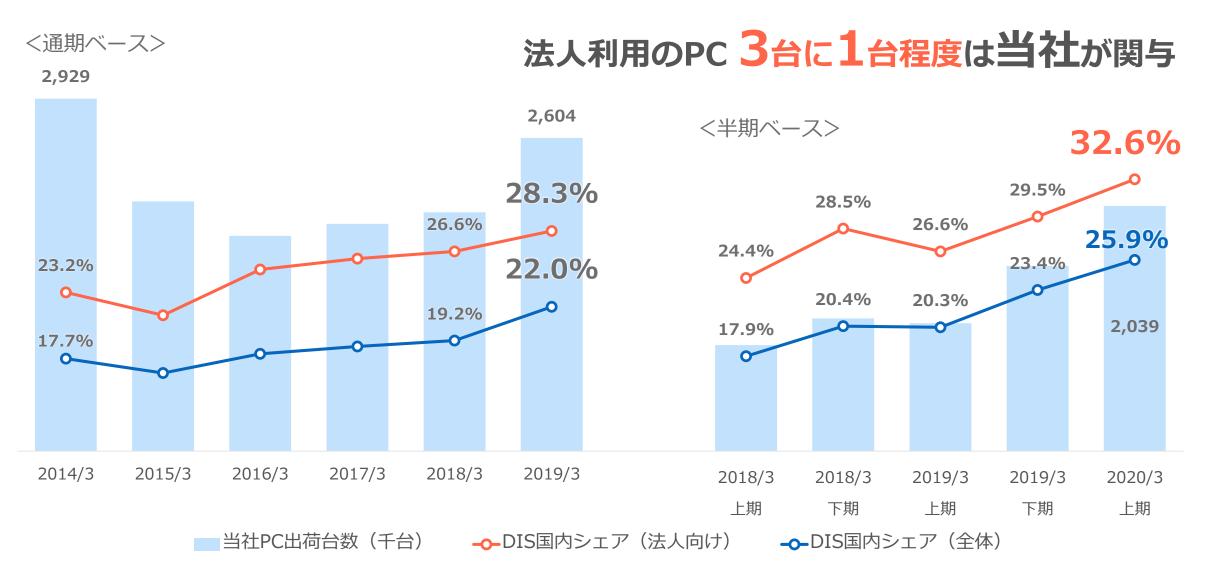
サーバー出荷台数 **2.9**万台(前年比+8.1%)

国内企業のIT投資が底堅く推移する中、2020年1月に控えたWindows7の延長サポート終了に伴う更新需要により主力のPC販売が大幅に増加し、周辺機器・ソフトウェアを含めた複合提案の推進も奏功

事業概況	
法人向け市場	働き方改革や生産性向上、労働環境整備のためのIT投資を的確に捉え、製造業やサービス業を中心とした企業向けの需要を獲得 文教向け、官公庁・自治体向けにおいても、全国的に販売が伸長
個人向け市場	量販店やWEB販売事業者においてPCやモニタ、プリンタ、 ソフトウェアの販売は好調に推移したものの、AV機器や 家電の販売が低迷

## ITインフラ流通事業 — 国内PCマーケットシェア —





※MM総研調査結果より算出(2020/3上期は調査会社の速報値をベースに算出しているため、シェアの公表値を変更する可能性があります)

# 繊維事業





**2Q累計売上高 37,366**百万円(前年比△0.6%)

**2Q累計営業利益 2,056**百万円(前年比△6.8%)

産業資材部門では土木資材・工業資材が堅調に推移し、衣料製品部門はアパレル不 況の環境下にかかわらず販路を拡大したが、合繊・レーヨン部門での需要減および 価格競争の激化が顕著となり、繊維事業全体では減収減益

#### 

# 産業機械事業





2Q

2Q

2Q累計売上高

6,506百万円(前年比△0.7%)

2Q累計営業利益

390百万円(前年比△15.4%)

米中貿易摩擦による影響を見極め、顧客が慎重に設備投資を決定する傾向にあり、 成約まで時間を要し、工作機械・自動機械ともに受注が減少

### 事業概況

#### 工作機械部門

日本工作機械工業会の上期受注総額が前年比34%減少と なる環境下で、受注高が前年同期比8%減少 主力の立旋盤は航空機分野を中心に堅調で、売上高は3% 増加したものの、製造原価の増加により営業利益は減少

#### 自動機械部門

国内では省人化・効率化への引き合いが活発であるもの の、設備投資に対する顧客の慎重な姿勢が強まり、受注 高は前年同期比25%減少

# 2020年3月期 2Q 連結貸借対照表増減



(百万円)	2019/3	2019/9	増減	主な増減要因
流動資産	280,347	275,621	△4,726	受取手形および売掛金の減少
有形固定資産	42,167	41,783	△384	減価償却による減少
無形固定資産	2,422	3,584	+1,161	システム投資の増加
投資その他の資産	10,951	10,544	△406	有価証券の時価評価による減少
資産合計	335,888	331,532	△4,356	
流動負債	217,720	208,216	△9,504	支払手形および買掛金の減少
固定負債	30,976	29,577	△1,399	返済による長期借入金の減少
負債合計	248,696	237,793	△10,903	
株主資本	87,290	94,051	+6,761	利益剰余金の増加
純資産合計	87,191	93,739	+6,547	
負債純資産合計	335,888	331,532	△4,356	
自己資本比率	25.7%	28.0%	+2.3%	
有利子負債	34,384	32,847	△1,537	



# 通期業績予想および中期経営計画の見通し

# 2020年3月期 通期業績予想



(百万円)	2019/3 (実績)		2020/3 (予想)		増減	前年比
売上高	金額 785,554	率	金額 <b>792,400</b>	率	+6,845	+0.9%
ITインフラ流通	693,957		700,400		+6,442	+0.9%
繊維	75,088		75,700		+611	+0.8%
産業機械 営業利益	13,900 22,709	2.9%	14,000 22,700	2.9%	+99 \^9	+0.7% \(\frac{0.0\%}{}
古来小皿 ITインフラ流通	18,128	2.9%	17,800	2.9%	△328	△1.8%
は 繊維 産業機械	3,230 1,231		3,500 1,300		+ 269 + 68	+8.3% +5.6%
経常利益	22,840	2.9%	22,500	2.8%	△340	△1.5%
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	16,775	2.1%	14,100	1.8%	△2,675	△15.9%

### ITインフラ流通事業の重点施策



#### 【2020年3月期 通期予想】

**売上高 700,400**百万円(前年比+0.9%)

**営業利益 17,800**百万円(前年比△1.8%)

#### 重点施策

#### 既存事業強化・拡大

- PC・タブレット・スマートフォンなどのユーザーが直接利用する端末を重点ITデバイスとして拡販
- 高度化・複雑化するITインフラ商談において、営業支援体制を 強化し、市場における存在感を高める

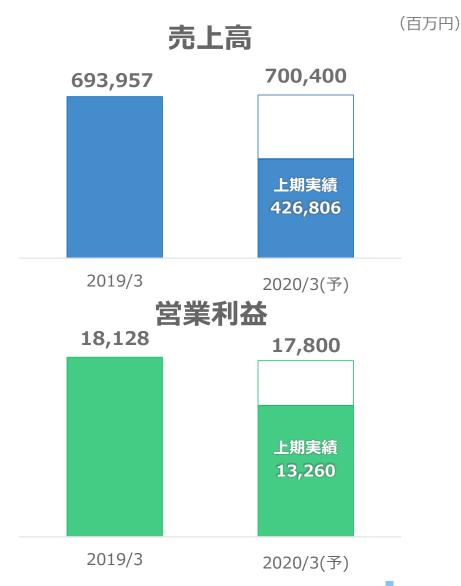
#### 市場創造

- ・サブスクリプション
- 文教市場
- ・モバイルビジネス

- iKAZUCHI(雷)に様々なサービスを搭載することで、販売 パートナーの契約・請求管理における利便性を高めるとともに、 サブスクリプション型ビジネスの発展に貢献
- 教育の情報化推進やプログラミング教育必修化など文教市場の需要が拡大する中、最適な商材を確保し、全国の販売パートナーと協業し自治体・学校へのサポート体制を強化
- 働き方改革・生産性革命を実現するテレワークの普及に向けた 提案を強化し需要を創出

#### 業務改革

- 今後予測される人材不足に対応し働きやすい職場環境を整備
- RPA(ソフトウェアロボットによる業務自動化)を活用した業務効率化・生産性向上への取り組み



21

# ITインフラ流通事業 — iKAZUCHI(雷) —





### 「iKAZUCHI(雷)」はサブスクリプションビジネスにおける 販売パートナーの課題を解決する新しい仕組みです

サービスの多様化 組み合わせによる進化 サブスクリプション (継続課金型)で 管理・運用することで 始めやすく無駄がない

長期的な進化と運用を両立する サブスクリプション志向

#### あらゆる業界におけるビジネス潮流

### <iKAZUCHI(雷)の特長>

- 複数ベンダーの契約サービスを横断的にユーザー単位で 注文/管理ができる
- リアルタイムに、契約サービスの累積保有状態の管理ができる
- □ 従量型、自動継続型、満了更新型等の多様な課金管理ができる
- □ ユーザー自身でも保有状況、満了日などを 確認できるポータルサイトが提供できる

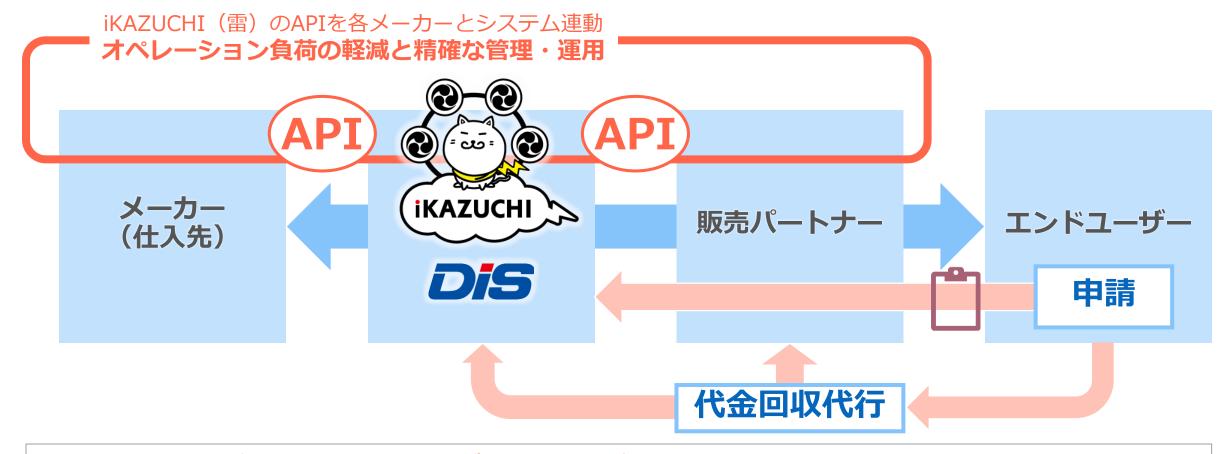


最新情報はこちら https://www.ikazuchi.biz/



# ITインフラ流通事業 — iKAZUCHI(雷) —





- 多数のサービスの一元管理はディストリビューターの役割・使命
- □ さまざまな支援の仕組みを実装してビジネスを浸透させるお手伝い
  - →多様なIT市場モデルの「ビジネス推進基盤」としての橋渡しを実現

# ITインフラ流通事業 — iKAZUCHI(雷) —



24

### 走り続けるiKAZUCHI(雷)

### サブスクリプションビジネスの市場拡大

- 販売パートナーの稼働率向上
- 複数契約のユーザーに合わせた提案強化

### LTV(顧客生涯価値 = Life Time Value)を高める

- → 新たなサービス・機能の提供
- → メーカーコラボレーション企画

2020/3上期 34.1億円

(前年比+132.3%)

2019年度契約分

2019.6

代金回収代行サービス提供開始

**iKAZUCHI** Payment Collection

継続収益の「地盤」を広げていく ビジネスモデル

2018年度契約分

2017年度契約分

iKAZUCHI(雷) 売上高

2018/3

5億円

2019/3

37億円

2020/3 (計画)

60億円

2021/3

# ITインフラ流通事業 ― 文教市場 ―



■令和元年度革新的事業活動に関する実行計画(抜粋)<2019年6月閣議決定>

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
児童生徒1人1台の環境実現のため のロードマップ策定	ロードマッ	プに基づくI	CT環境の実	現		
ICT機器等の標準仕様書例を策定	全国の教育	<b>育委員会、学</b>	交等へ周知			
学校のICT環境のクラウド化を推進		クラウド導	算入の方策につ	ついて周知		
SINETの活用モデルの提示	トライアル	・先行実施	SINET本格	各運用		
すべての教師がプログラミング教育を実施するための体験・研修等	小学校にま	おけるプログラ	ラミング教育	の実施		
	小学校にま				7+ %+ 7"1 00 Ch 0	京体 怪 / / /

※SINET:日本全国の国公私立大学・公的研究機関等を結ぶ100Gbpsの高速通信インフラ

- ■「学校教育の情報化の推進に関する法律」 <2019年6月施行> → 学校のICT環境整備が法律による"責務"に
- ■「GIGAスクールネットワーク構想」 < 文部科学省3年計画: 2020年度概算要求 375億円>
  - → 2022年度までに高速・大容量の通信ネットワークを全校整備(文科省が2分の1を補助する計画)

2025年度までの実行計画により具体的なICT機器やネットワーク環境の施策が示されあわせて法律に基づく責務となったことで、学校教育の情報化推進に向けた機運が一段と高まる

### ITインフラ流通事業 — 文教市場 —



26

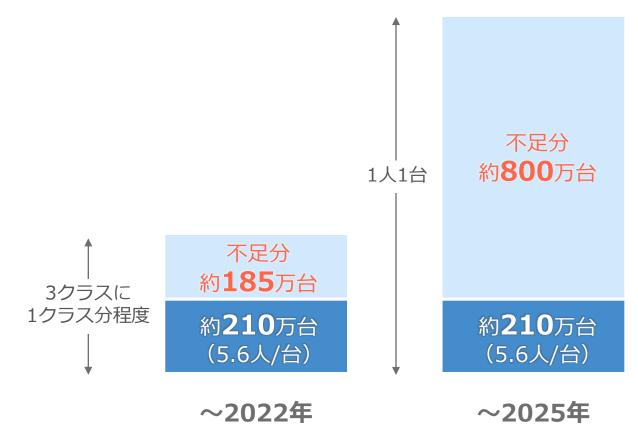
### ■学校ICT環境整備状況

調査内容	2018/3	2019/3
教育用PC1台当たりの児童生徒数	5.6人	5.4人
普通教室の無線LAN整備率	34.5%	40.7%
インターネット接続率 (100Mbps以上)	63.2%	69.1%
統合型校務支援システム整備率	52.5%	57.2%

#### (全国市場規模)

2019/3現在	学校数	普通教室数	児童生徒数
小学校	19,331校	26.1万教室	631万人
中学校	9,324校	10.8万教室	298万人
高等学校	3,548校	6.7万教室	218万人
全体	33,383校	46.7万教室	1,167万人

### ■教育用PCの不足状況 (2018年3月時点)



※文部科学省「平成30年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(概要)」 および「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策(最終まとめ)」を基に当社作成 【~2022年】「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018~2022年度)」に基づく 【~2025年】「令和元年度革新的事業活動に関する実行計画」に基づく

## ITインフラ流通事業 — 文教市場 —





マルチベンダーならではのメーカーアライアンスにより 導入フェーズに応じて全国の販売パートナーに最適な提案を実施

需要喚起 学校における導入フェーズ 検討・調査 予算調整

導入

運用

模擬授業・ワークショップなどのセミナー開催、国政・市場動向の情報提供

個々の学校現場の状況に合わせて最適なICT環境やプロダクトを段階的に提案

これまでの導入実績を活用した構成支援および申請支援

キッティングサービスなどの幅広い環境設定支援、機器保管

PC操作や授業デザインカ向上などの教員向け研修企画

### 繊維事業の重点施策



#### 【2020年3月期 通期予想】

**売上高 75,700**百万円(前年比+0.8%)

**3,500**百万円(前年比+8.3%)

#### 重点施策

合繊・レーヨン部門

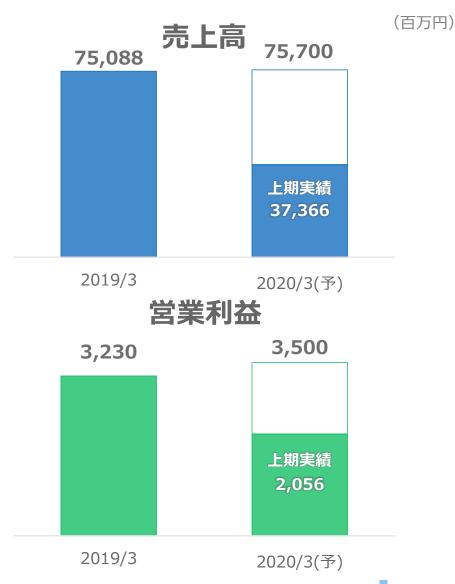
- 衛生材料分野で抗菌や生分解などの高機能原綿の提案を強化し、 マーケット拡大および新規商圏獲得につなげる
- 不織布は付加価値の高い製品を中心に拡販
- レーヨンは新規機能性素材の開発とサステナビリティ提案強化

#### 産業資材部門

- 成長分野におけるフィルター需要を取り込み、顧客ニーズに合致した開発提案を強化
- 土木・建築資材などのインフラ市場に加えてゴム関連商品や、 テント・シートなど防災関連商材の拡販
- 生産拠点集約による事業再編

#### 衣料製品部門

- ■機能性素材と環境負荷低減を合わせた独自開発商品の顧客提案 を推進
- 消臭剤や吸湿発熱などのライフスタイル商材の強化
- 海外生産拠点の活用による安定した生産基盤の構築



28

### 繊維事業 — 製品事例 —



29

### 合繊・レーヨン



- 紙おむつや生理用品などの衛生材用に使用される合成繊維
- 乳幼児用おしり拭きや除菌シート、フェイスマスクなどの生活資材に使用される不織布 (織らずに水や針などの特殊な方法で繊維を絡み合わせたシート)
- アスベスト代替として使用され、モルタルのひび割れを自己治癒することのできる繊維
- □ 木材パルプから生産される生分解性の高いレーヨンを加工した不織布製品・衣料製品

### 産業資材





- 化学・電子・食品業界など幅広く活用される不純物をろ過するカートリッジフィルター
- トラック幌やテント倉庫に使用される重布、防水シートや緑化ネットなどの土木資材
- 自動車部品・家電など多様な用途に使用される高品質ゴムスポンジ製品
- 建設現場の防音シートや養生メッシュなどの各種産業用シート

### 衣料製品



- ♪ 機能性インナーや高密度織物、快適アウターなどの衣料・リビング用素材・製品
- ライセンスブランド衣料品

メンズ・レディース:「FILA」「T&C」「Prince」「silvia&silvester」

キッズ:「Champion」「Hanes」「Wilson」

## 産業機械事業の重点施策



#### 【2020年3月期 通期予想】

**5. 14,000**百万円(前年比+0.7%)

**1,300**百万円(前年比+5.6%)

#### 重点施策

#### 利益体質の確立

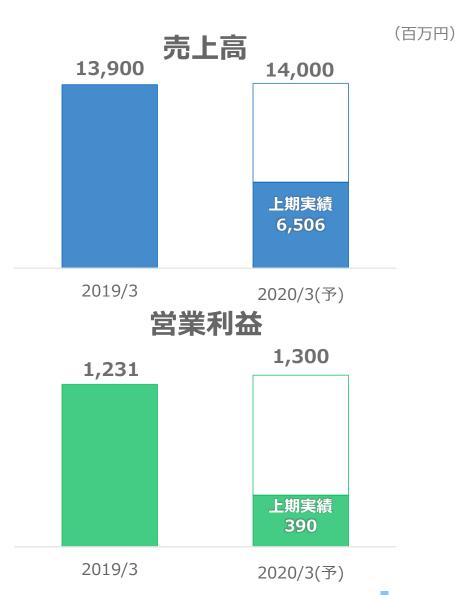
- 加工機械の更新やIT活用による生産体制の効率化を推進
- 若手社員への技能伝承を図る教育実践によるモノづくり強化
- 播磨テクニカルセンターを拠点に西日本地区のユーザーに対するサービス拡充

#### 営業基盤の拡充

- 立旋盤の国内シェアをより強固にすべく、需要が堅調な航空機 業界を中心に、技術提案による顧客満足度向上に注力
- 米国子会社のOM-USAをサービスに特化させ、現地ディーラーのサポート体制を強化
- 中国では、高品質が求められる業界・顧客に対して、重点的な 技術提案を推進
- 三次元測定機による機種別の加工データを活用したソリューションビジネスの深耕

#### 新規事業の創造

- 市場ニーズに適した戦略的商品の開発および量産化を推進
- 産学共同研究やDISとのグループ連携によるAI・IoTを活用した 商品開発



30

### 産業機械事業 — 製品事例 —



### 立旋盤



- 中・大型で国内シェアNo.1 (累計出荷台数7,000台超)
- □ 「立旋盤のオーエム」として国内外で高い評価を獲得
- 工作物を水平方向に回転するテーブルに取り付けて切削する機械で、テーブル径は800 ~8,500mmと幅広く多様な生産形態に対応し、高剛性・高精度で操作性に優れ、航空 機工ンジンの部品をはじめ、あらゆる分野のマザーマシンとして活躍
- □ 左の写真は新製品の「RT-915」で小型汎用機として量産化を目指す

### 車輪旋盤



- 鉄道車両のメンテナンスに使われる専用工作機械で鉄道の安全と乗り心地の向上に寄与
- コ 床下車輪旋盤で国内シェアNo.1
- 世界初の車輪旋盤を製作し全世界向けに多くの納入実績のあるドイツのヘーゲンシャイト社より技術供与を受けて国産化、設計・部品・ソフトウェアはすべてオリジナル製作







- カートナー(小箱詰機)や、個包装された商品を集積してフィルムで包む中間包装機、 段ボールケーサーなど幅広い自動機械を製作(左の写真は横型連続カートナー)
- ライフサイクルが短く多様化が顕著な食品や、製造基準の厳格化が進む医薬品など、変化の激しい分野の包装工程のニーズに柔軟に対応できる技術と発想力が強み

## 中期経営計画「イノベーション21」第三次計画



- ・ ITインフラ流通を主軸とした幅広い社会貢献型経営
- ・ 収益基盤を活用した積極的な事業展開
- 新たなビジネス創造への挑戦期間

対象期間

2019年3月期~2021年3月期 (2018年5月策定)

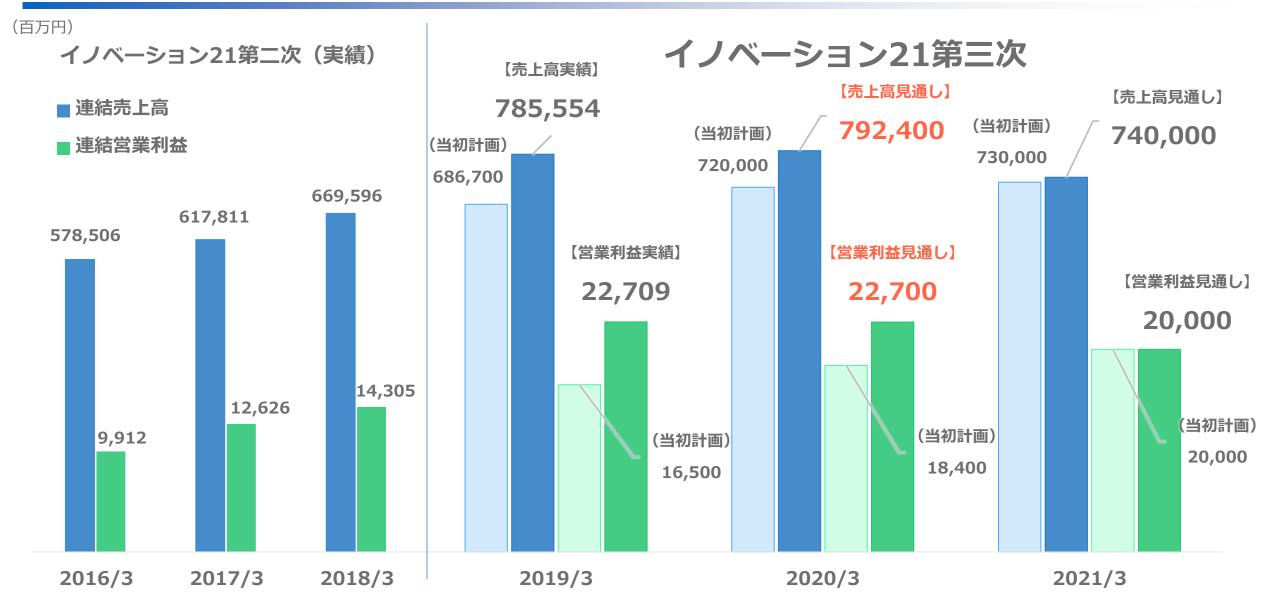
### 基本方針

ITインフラ流通事業の 更なる拡大 繊維および産業機械事業での収益力強化

コーポレート戦略推進による 連結企業価値向上

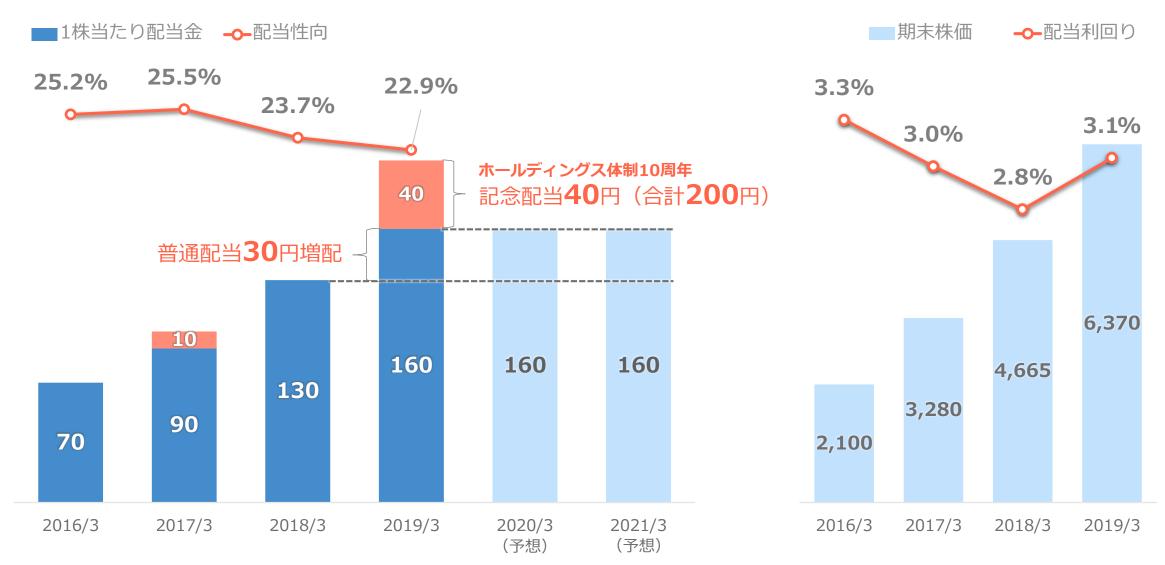
### 中期経営計画の進捗状況





### 株主還元





(注) 2017年10月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式について10株を1株への併合を実施

<sup>(</sup>注) 1株当たり配当金および期末株価については全て併合後に換算して表示しております

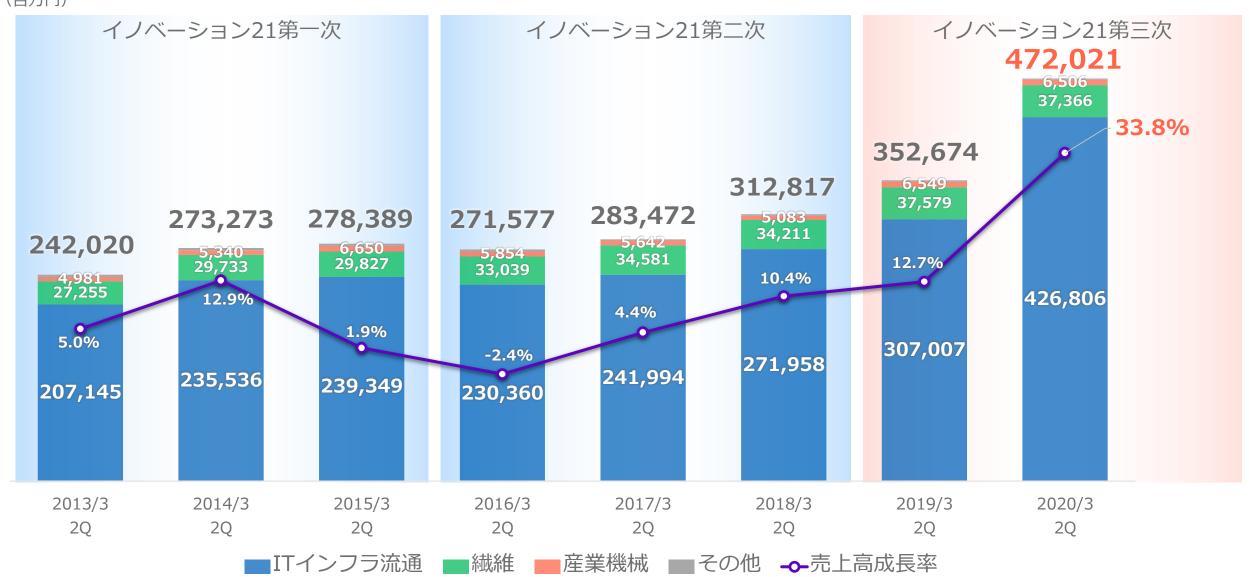


# 【参考資料】業績推移グラフ

# 連結売上高(2Q累計期間)



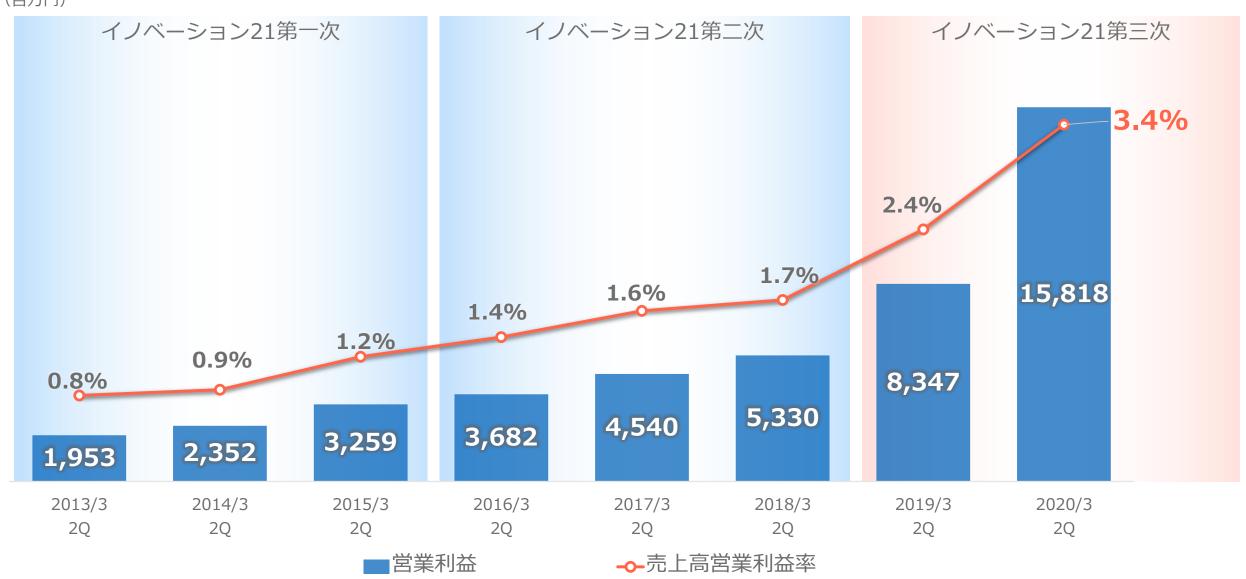
(百万円)



# 連結営業利益(2Q累計期間)



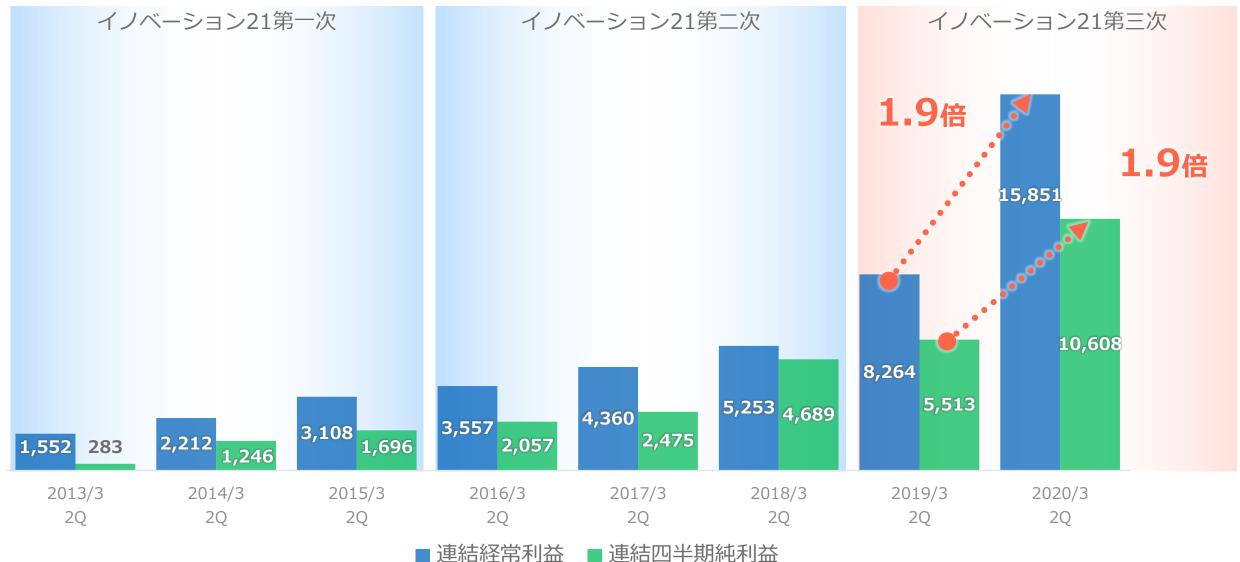
(百万円)



# 連結経常利益・連結四半期純利益(2Q累計期間)



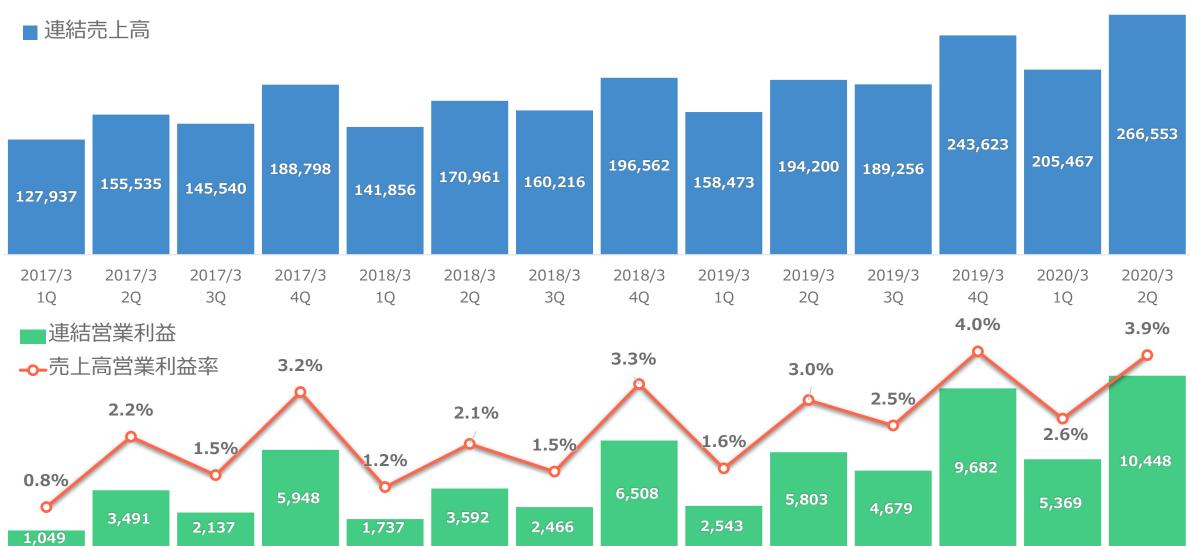




# 四半期別業績

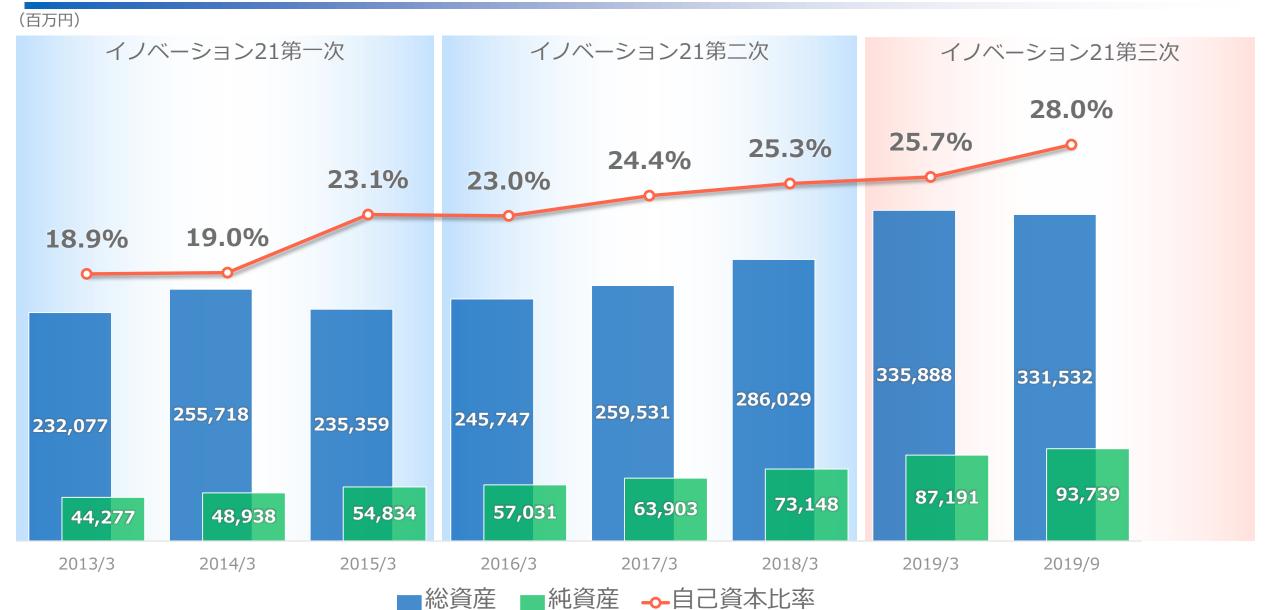


(百万円)



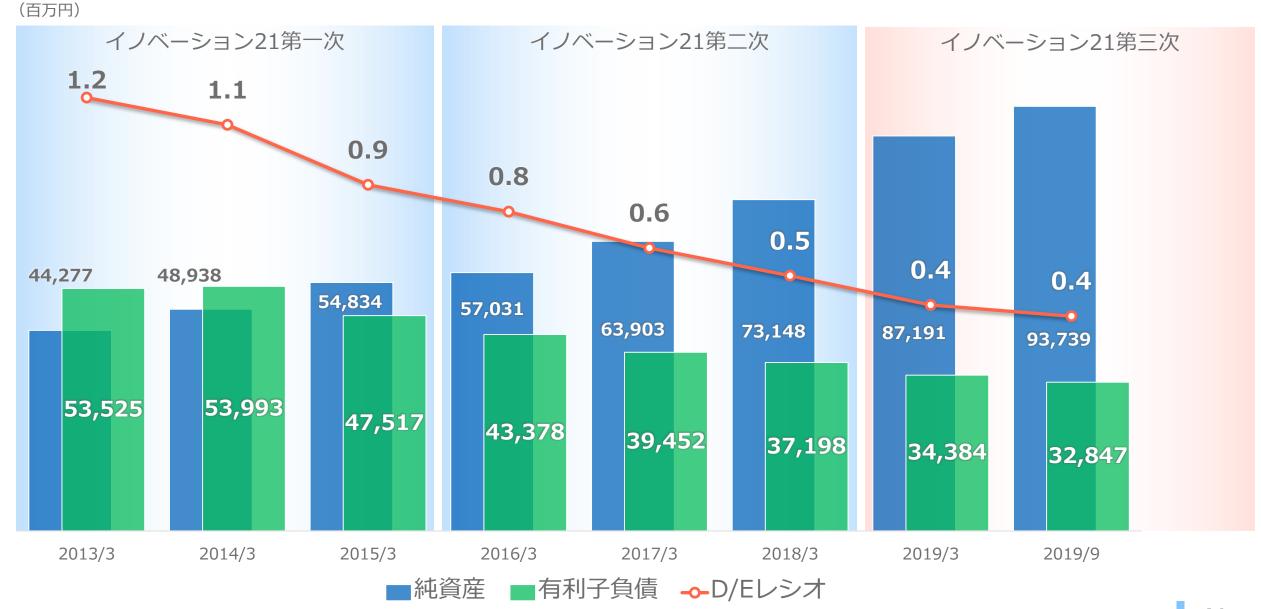
## 連結総資産・連結純資産・自己資本比率





# 有利子負債・D/Eレシオ

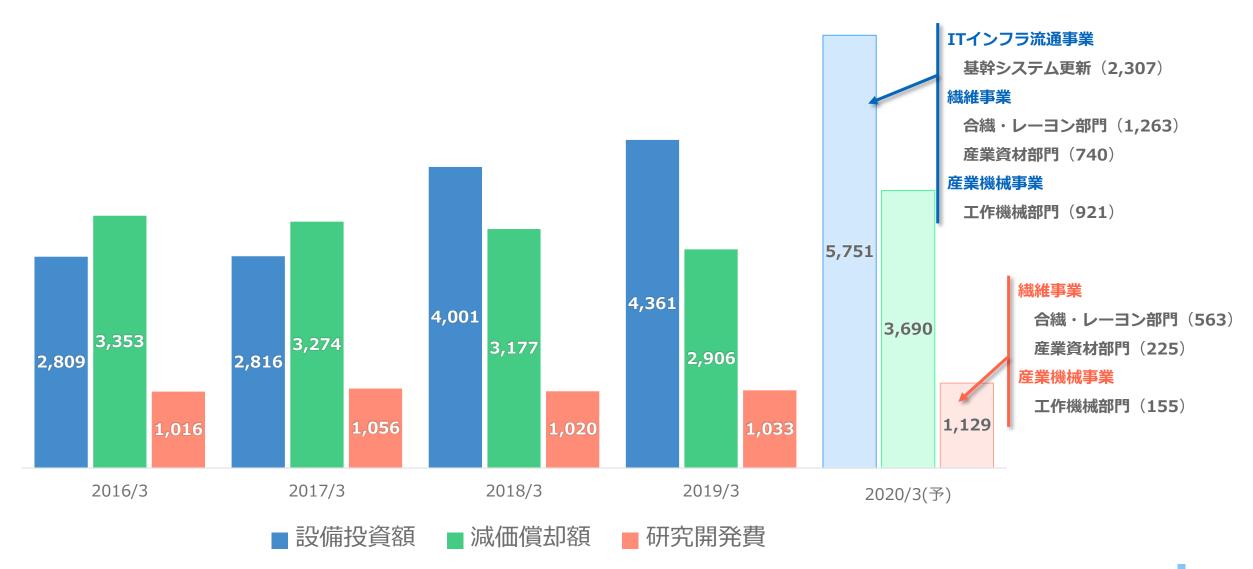




# 設備投資額·減価償却額·研究開発費



(百万円)





# 【参考資料】ITインフラ流通事業 補足資料

# ITインフラ流通事業 一成り立ちと歩み 一



#### 1982 DIS創業

- 大和紡績が、PC活用による生産現場のモニタリングシステムを自社開発したノウハウを生かして、わずか10名でスタート
- システム開発・販売ではなく、PCをはじめとした 情報機器の販売にシフト

### 1983-1984 多店舗展開

• 大和紡績の工場があった佐賀・出雲・金沢に 支店を開設し、いずれも早期に黒字化したこ とで多店舗展開を加速

### 1998 DIS-NET稼働

• 販売管理システム「DIS-NET」を本格稼働し、創業以来の伝統である即納体制をさらに強化

### FY2018 \_6,000億円**突破**

5,000億円突破

FY2013

### 2000 iDATEN(韋駄天)稼働

• BtoB販売支援Webサイトで24時間 365日注文受付可能に

FY2011

4,000億円突破

### FY2002

3,000億円突破

### FY1998

2,000億円突破

FY1995

1,000億円突破

2000 DIS東証1部上場

### 2009

### 経営統合

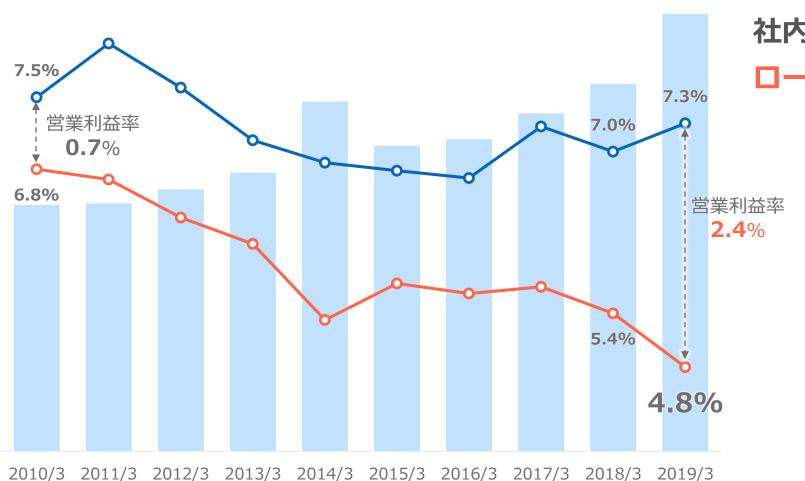
HD体制の「ITインフラ流 通事業」として位置づけ

> DIS単体 売上高推移

## ITインフラ流通事業 - DIS-NET = 成長の原動力 -



(ITインフラ流通事業 実績)



社内システムへの積極投資による ローコストオペレーションの徹底

基幹システム「DIS-NET」

1998 **DIS-NET** 

2005 DIS-NET II

2013 DIS-NET Ⅲ

2020 **DIS-NET IV** 

営業効率を最大化する すべてのシステムと連動

──売上高 ← 販管費率 ← 粗利率

※連結調整を反映しておりませんのでセグメント実績とは異なります

## ITインフラ流通事業 — Web受発注システム—





### 商品・サービスパック等

iDATEN(章駄天) IT業界最大級規模のB2B総合販売支援サイト 約10,000社の販売パートナーに「商品検索」

約19,000社の販売パートナーに「商品検索」「見積」「発注」「納期確認」機能を提供

iDATEN PLUS iDATEN (韋駄天) の受発注機能を販売パートナーに提供

iDATEN EX2 DIS取扱商品に加えて販売パートナーの取扱商品、オリジナルサイトデザインを適用可能なEC構築サービス

サブスクリプション

iKAZUCHI(雷) クラウドサービスを中心に月額課金や年額課金、従量課金などのさまざまな提供形態に対応した 販売パートナー向けサブスクリプション管理ポータル

# ITインフラ流通事業 ― トピックス―



2019.09.13	ダイワボウ情報システム、HYCU とディストリビューター契約を締結〜日本国内でのニュータニックス向け
	データ保護ソフトウェア「HYCU Data Protection for Nutanix」の取扱いを開始~

- **2019.06.21** ダイワボウ情報システム、ソリューションプロバイダーに「IBM Cloud」の提供を開始
- **2019.06.19** サブスクリプション利用料の回収代行サービス「iKAZUCHI Payment Collection」の提供を開始
- 2019.05.28 ダイワボウ情報システム、「テレワーク導入推進コンソーシアム」へ加入
- 2019.05.14 ダイワボウ情報システム、ノキアと日本初のディストリビューター契約を締結
- **2019.04.19** Software-Defined分野におけるヴイエムウェア製品販売を強化
- **2019.04.11** ダイワボウ情報システム、Nutanixと提携し、Nutanix Enterprise Cloud OSを推進

# ダイワボウグループ



#### ITインフラ流通事業 ダイワボウ情報システム株式会社

ディーアイエスサービス&サポート株式会社 ディーアイエスソリューション株式会社

#### 繊維事業 大和紡績株式会社 ダイワボウポリテック株式会社(※) P.T. DAIWABO SHEETEC INDONESIA ダイワボウレーヨン株式会社 P.T. DAIWABO NONWOVEN INDONESIA ダイワボウプログレス株式会社(※) ダイワボウノイ株式会社(※) カンボウプラス株式会社 ダイワボウアドバンス株式会社 朝日加丁株式会社 西明株式会社 ケービー産業株式会社 干子ファイバー株式会社 カンボウキャンバス・カッティング・サービス株式会社 Daiwabo Hong Kong Co., Limited ダイワボウスピンテック株式会社 蘇州大和針織服装有限公司 ディーエヌプロダクツ株式会社 大和紡工業 (蘇州) 有限公司 ダイワマルエス株式会社 P.T. PRIMATEXCO INDONESIA P.T. DAIWABO INDUSTRIAL FABRICS INDONESIA P.T. DAIWABO GARMENT INDONESIA 産業機械事業 株式会社オーエム製作所 株式会社オーエム機械 O-M (U.S.A.) ,INC. オーエム金属工業株式会社 欧安睦 (上海) 商貿有限公司 オムテック株式会社 その他事業 ダイワボウアソシ工株式会社(※) ダイワエンジニアリング株式会社 ダイワボウライフサポート株式会社 ダイワボウエステート株式会社(※) 大和紡観光株式会社(霧島国際ホテル) カンボウ企業株式会社

2020年4月1日付で上記※の5社が**大和紡績株式会社**と合併する予定です



### 【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。